

法人（事業所）理念		〔法 人〕 あなたが安心して 豊かに暮らせる 社会を創る 〔事業所〕 子どもたちが、安心してその子らしさを発揮して、家族と共に、生き生きと幸せな生活が送れる環境を整える			
支援方針		・子どもたちが、安心して過ごせる環境の中で持てる力を引き出し、その力を使って主体的・意欲的に活動に参加し、幼児期に必要な経験を積んでいく。 ・家族が、我が子を知り、それぞれのスタイルで子育てに前向きに取り組めるようになる環境を、家族とともに作り出していく。 ・子どもたちに関わる支援者を繋ぎ、理解者を増やし、子どもたちが過ごしやすい環境を広げる。 ・子どもの想いを探り、家族の声に耳を傾けながら、子どもと家族が必要とすることに応えられるようなサポートをすることで、地域での生活に繋げる。			
営業時間		9 時 30 分から 13 時 50 分まで		送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	①身の回りのことで、自分でできることが増える。楽しく通園し、生活リズムが整う。 ・食事・排泄・衣類の着脱・清潔面で、現在できつつあることを見つけ出し、家庭と一緒にそれぞれの子どもに合った環境の中で支援を継続し、自立を促す。 ・食事、排泄、睡眠リズムに気をつけながら、健康な体作りを意識して、生活リズムを整える。			
	運動・感覚	②楽しく体を使って遊びながら、様々な姿勢を取り、体幹、バランス感覚、調整力が育つ。様々な素材に触れながら、両手の協応動作、手先の巧緻性、手と目の協応性が高まる。 ・ホール等広い場所で遊具を使用した遊び、さらに外遊びや園外での遊びを通して、自然に触れ、体を動かす楽しさを味わいながら、粗大運動面の発達を促す。 ・プレイルームで玩具を使って遊んだり、道具を使用する活動に参加したりして、手先を使用しながら楽しめる活動を増やし、同時に微細運動面の発達を促す。			
	認知・行動	③外界の刺激をキャッチして、その物自体の特性、さらに周囲とその物の関係性を知り、興味関心が広がる。達成感、成就感を感じ、自己肯定感が高まる。 ・身近な物の存在に気づき、物の名前や形態の違いを知る。 ・物同士の関係性を知り、空間や時間の概念へと広げる。 ・分かることが増え、自発的に活動に取り組み、成功体験を積むことで、自己肯定感を高めていく。			
	言語 コミュニケーション	④人に思いを伝える手段を養い、発信の意欲を高める。伝えられた情報を理解し、自発的に活動に参加できる力が育つ。 ・それぞれにあった手段を使い、自分の思いが伝わった楽しさや便利さを味わい、コミュニケーションマインドを高める。 ・相手からの情報を得て、内容を理解し、自発的にさらに意欲的に活動に参加できるように促す。			
	人間関係 社会性	⑤人と過ごす楽しさを味わい、真似たり、協力することを経験し、集団活動が楽しめる力が育つ。 ・配慮された環境設定の中で、家族以外の大人と過ごすこと、同年代の子どもと過ごす時間に慣れ、楽しみながら関係を発展させていけるよう促す。 ・同じ空間で過ごすことから、同じことをやる、協力して一緒に取り組む、さらにルールを守って遊ぶ、という経験に繋げていく。			
家族支援		・ご家族と一緒に、我が子の特性を探り、それぞれに合った支援を子育ての中に取り入れられるよう工夫しながら、前向きな子育てを応援する。 ・ご家族と一緒に、我が子の成長を確認する。	移行支援	・ゆうあい幼稚園での園生活を体験して、幼稚園等への移行が可能かどうかを検討する。 ・幼稚園等への移行を検討する際に、職員と園児とで移行を希望している園に行き、園生活を体験する機会を持つことで、移行が可能かどうかを検討する。	
地域支援・地域連携		・地域で支援を必要としている幼児や支援者のお手伝いをする。 ・併行通園児や卒園児が通園先や卒園先でも生き生きと過ごせるよう、連携を取って情報を共有し必要に応じて支援を引き継ぐ。 ・地域の人たちに障がいの理解を啓発し、障がい児やその家族が生活しやすい地域づくりをしていく。	職員の質の向上	・事業所内学習会の実施（年5回） ・事業所内ケース会議（年3回） ・外部コンサルタントによるコンサルテーション（年3回） ・外部機関による研修会への参加（随時）	
主な行事等		4月：父母総会 5月：函館山登山 8月：なつまつり 9月：運動会 ・ 競馬場公園遠足 10月：年長児お楽しみ会 12月：もちつき・クリスマス 2月：そりすべり 3月：卒園式 ●個別懇談（5月〔在園児〕・7月〔新入園児〕・10月〔在園児〕・11月〔新入園児〕・3月〔全園児〕） ●療育参観日（6月・10月・1月） ※夏休み・冬休み・春休み：8日間程度			